

# 3. バス交通再生プロジェクトの推進

## 公共交通移動円滑化事業

ノンステップバスの導入

予算額: 1,581百万円

高齢者、身体障害者等が公共交通機関を利用しやすくするため、標準仕様ノンステップバスに補助を重点化することによって、ノンステップバスの普及促進を着実に推進する。

### 標準仕様ノンステップバスの普及の促進

#### 標準仕様採用の効果

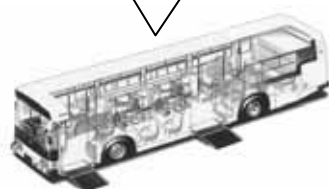
- ・ 高齢者、障害者を含むバス利用者にとって高い利便性を享受できる
- ・ 仕様の標準化により大量定型生産を図り、製造コストが低減される



標準仕様ノンステップバスに補助を重点化

### ノンステップバスの普及を拡大

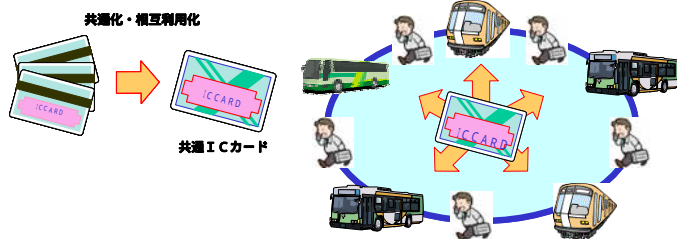
ステップの高さ、車いすスペース等について標準仕様化



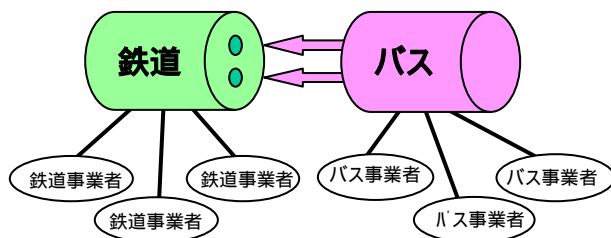
### バス・鉄道相互の共通ICカードシステムの整備促進

バス・鉄道相互のICカードの導入は、乗り継ぎ時間が短縮される等、利用者利便の向上に大きく資するため、これに必要なセンターシステムの構築について、国が補助することにより、ICカードシステムの整備を促進する。

#### 【ICカード共通化のイメージ】



#### 【バス・鉄道相互のICカードセンターシステムのイメージ】



### 外国人観光客が利用しやすいバス交通の実現に向けた実証実験

外国人観光客にとって路線バスは利用が極めて困難な状況にあることから、観光推奨バス路線を指定し、車両や路線図へのカラーリングや、外国語表記などの実証実験を行い、外国人観光客が利用しやすいバス交通の実現を図る。

#### 施策内容

#### 観光推奨バス路線指定制度



外国人の利用促進

#### 実証実験の内容

- 外国人観光客にとって利用しやすいバス路線とすることによって公共交通による移動の円滑化を図るため、以下の実証実験を行う場合、その費用の1/2を国が補助することとする。
  - ・ 車両や路線図にカラーリング
  - ・ 一般のバスと明確に区別できるレトロバス車両の導入
  - ・ 外国語表記やナンバーリングを施したバス停や路線案内板等の施設整備
  - ・ 外国語による車内放送ソフト、外国語による運行情報提供ソフト等の製作

外国人観光客が利用しやすいバス交通の実現